



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月13日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
 コード番号 8145 U R L <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部長 (氏名) 曰井 敬人 T E L 052-683-3000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	29,008	1.1	462	30.7	636	27.6	442	35.6
2025年3月期第3四半期	28,679	0.0	353	12.8	498	12.1	326	△2.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	270.14	—
2025年3月期第3四半期	197.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,400	14,238	73.4
2025年3月期	16,021	13,239	82.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 14,238百万円 2025年3月期 13,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 85.00
2026年3月期	—	40.00	—		
2026年3月期(予想)				45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,760	△2.7	355	7.5	502	0.0	340	2.9	207.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期 3 Q	1,926,900株	2025年3月期	1,926,900株
2026年3月期 3 Q	289,580株	2025年3月期	289,449株
2026年3月期 3 Q	1,637,411株	2025年3月期 3 Q	1,647,576株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、国際的な紛争の拡大や米国の関税政策に伴う景気減速の影響を受けつつも、国内においては人手不足を背景に賃金の上昇が続くなど、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、それを上回る継続的な物価上昇の影響により消費者の生活防衛意識が一層高まっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、売上高は卸売部門が堅調に推移するなど、全体で29,008百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。経常利益は、主に冷蔵倉庫部門の好調な稼働が売上総利益を押し上げたことに加え、営業外収益である受取配当金が増加した結果、636百万円(前年同四半期比27.6%増)となり、四半期純利益は、442百万円(前年同四半期比35.6%増)となりました。

今後につきましては、当社は、多様化する消費者ニーズに対応するため、広範な情報収集や企画提案力を強化し、荷主や販売先とのコミュニケーションを深め、売上拡大に努めてまいります。また、社内体制においては業務の効率化や環境の変化に対応した組織づくりを行い、企業体质の強化を図ってまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、サンマの豊漁や天然本マグロの漁獲枠拡大が追い風となり好調に推移しました。その他の天然魚は、海洋環境の変化に伴う不漁で入荷が減少したものの、量販店向けの商品提案を強化したことにより、真ダラやサーモンなどの販売が増加しました。

塩冷加工品は、主力の鮭鱈、凍魚は水揚げ不振による加工原料不足や、物価上昇に伴う消費鈍化の影響を受け取り扱いが減少したものの、取引先への販売促進活動により、冷カニの販売が伸長しました。

この結果、売上高は28,412百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業利益は398百万円(同16.2%増)となりました。

(冷蔵倉庫部門)

回転率の高い生鮮品や超低温冷凍貨物の入庫が堅調に推移したことに加え、外国貨物の入庫が増加し庫腹率が高水準で推移した結果、売上高は416百万円(前年同四半期比13.7%増)、営業利益は182百万円(同56.8%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが堅調に稼働した結果、売上高は179百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益は133百万円(同0.6%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、19,400百万円となり、前事業年度末に比べ3,379百万円(21.1%)増加しました。これは主に、売掛金1,853百万円、投資有価証券821百万円、商品414百万円、土地360百万円の増加によるものです。

負債は、5,162百万円となり、前事業年度末に比べ2,380百万円(85.6%)増加しました。これは主に、買掛金1,996百万円の増加によるものです。

純資産は、14,238百万円となり、前事業年度末に比べ998百万円(7.5%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金695百万円、利益剰余金303百万円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2025年5月13日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	5,355,849	5,201,823
売掛金	1,752,062	3,605,270
有価証券	—	199,222
商品	2,199,159	2,613,231
貯蔵品	6,624	6,426
その他	123,481	19,247
貸倒引当金	△6,327	△14,047
流动資産合計	9,430,850	11,631,173
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	620,537	602,046
土地	1,955,249	2,315,964
その他（純額）	22,575	32,058
有形固定資産合計	2,598,362	2,950,069
無形固定資産	37,898	46,399
投資その他の資産		
投資有価証券	3,799,643	4,621,455
関係会社長期貸付金	80,000	75,000
その他	739,152	738,420
貸倒引当金	△664,452	△661,861
投資その他の資産合計	3,954,342	4,773,014
固定資産合計	6,590,603	7,769,483
資産合計	16,021,453	19,400,657
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,374,095	3,370,884
受託販売未払金	158,545	228,659
未払法人税等	84,080	95,790
賞与引当金	50,689	23,631
役員賞与引当金	12,700	—
その他	262,940	225,730
流动負債合計	1,943,051	3,944,695
固定負債		
退職給付引当金	323,251	304,890
その他	515,275	912,560
固定負債合計	838,527	1,217,451
負債合計	2,781,578	5,162,146

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,295,963	10,599,117
自己株式	△946,137	△946,518
株主資本合計	11,845,597	12,148,370
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,394,277	2,090,140
評価・換算差額等合計	1,394,277	2,090,140
純資産合計	13,239,874	14,238,510
負債純資産合計	16,021,453	19,400,657

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	28,679,004	29,008,349
売上原価	27,166,630	27,353,804
売上総利益	1,512,373	1,654,545
販売費及び一般管理費	1,158,723	1,192,241
営業利益	353,650	462,303
営業外収益		
受取利息	7,576	13,139
受取配当金	92,186	123,497
受取手数料	16,949	16,396
その他	28,782	21,346
営業外収益合計	145,494	174,380
営業外費用		
雑損失	281	78
営業外費用合計	281	78
経常利益	498,862	636,605
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	42,314	—
特別損失合計	42,314	—
税引前四半期純利益	456,548	636,605
法人税、住民税及び事業税	123,867	172,065
法人税等調整額	6,564	22,204
法人税等合計	130,432	194,269
四半期純利益	326,115	442,335

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	50,045千円	43,596千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	28,136,310	365,955	—	28,502,266	—	28,502,266
その他の収益	—	—	176,737	176,737	—	176,737
外部顧客への 売上高	28,136,310	365,955	176,737	28,679,004	—	28,679,004
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	116,344	—	116,344	△116,344	—
計	28,136,310	482,300	176,737	28,795,349	△116,344	28,679,004
セグメント利益	343,277	116,540	132,221	592,040	△238,389	353,650

(注) 1 セグメント利益の調整額△238,389千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約 から生じる収益	28,412,443	416,244	—	28,828,687	—	28,828,687
その他の収益	—	—	179,662	179,662	—	179,662
外部顧客への 売上高	28,412,443	416,244	179,662	29,008,349	—	29,008,349
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	125,056	—	125,056	△125,056	—
計	28,412,443	541,300	179,662	29,133,405	△125,056	29,008,349
セグメント利益	398,842	182,679	133,058	714,581	△252,278	462,303

(注) 1 セグメント利益の調整額△252,278千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。